

### 3 主要な事業の施行状況

「住みたい、住んでよかったと感じるまち」をまちづくりのテーマとした第五次大竹市総合計画「わがまちプラン」のもと、「大竹市が笑顔や元気がかがやいているまち」になるよう、次の事業に取り組みました。

#### (1) 大竹を愛する人づくり

「大竹を愛する人」を育てることは、そのまま「大竹が好きになる人」が増えるということです。まちづくりに自覚と責任が持てる「大竹を愛する人づくり」は、まちづくりのエンジン、つまり「推進力」となる基本目標です。

#### (2) 生活基盤が整ったまちづくり

人が「ここに住もう」と決定する際に最初に考えるのは、「そこに働く場所があるか」、「働く場所からどれくらいの距離があるか」などの、生計に関連したことや、基本的なまちの機能である生活環境についてではないかという考えから、「住みたい」と思ってもらうにあたって、重要度の高い基本目標として「生活基盤が整ったまち」を定めています。

#### (3) 安全なまちづくり

「ここに住もう」と決定する際、その次の決め手は、「災害や犯罪、事故、火災などに対して、安全が確保されているか」ということではないかと考えました。「どのようにして市民の安全を確保するか」という視点を踏まえ、「安全なまち」という基本目標を定めています。

#### (4) 安心できるまちづくり

「安全」の次に重要と考えるのは、ライフステージのそれぞれの段階での社会保障制度、つまり、高齢者福祉や児童福祉、医療体制などの充実ではないかと考えました。心も体も健康で生活できることは、まちが元気になる基本です。

## (5) 心にゆとりを感じるまちづくり

人が最終的にまちに求めるものは、「ゆとり」や「豊かさ」、「生きがい」など、生活の質の向上ではないかと考え、「生涯を通して生きがいを持ち、生き活きとこの大竹で暮らしてほしい」という思いから、「心にゆとりを感じるまち」を基本目標として設定しています。

## (6) 行政・社会の仕組みづくり

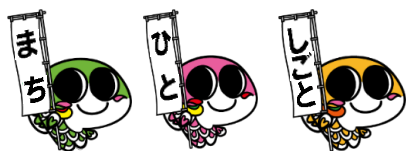
総合計画に連なるすべての施策を実施するには、「ヒト（人的資源）・モノ（物的資源）・カネ（資金）」に代表される地域資源が必要です。「地域資源をいかに有効に使い、実りの多いまちづくりをするか」という視点は、すべての施策を推進するにあたり必要となることから、基本目標である「行政・社会の仕組みづくり」は、総合計画を実施するにあたっての前提条件と位置付けています。

新

平成29年度に新規に行った事業及び建設に着手した事業です。

拡充

制度などが前年度と比較し拡充された事業です。



人口減少の克服と地方創生を実現するため、大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定している、3つの基本目標を達成するための事業には、左の、おおたけPRキャラクター「コイちゃん」が付いています。

**まち** : 誰もが健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる地域を実現する  
**ひと** : 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる  
**しごと** : 地域経済を活性化し、安定した雇用創出を実現する

# (1) 大竹を愛する人づくり



## 中学校教育振興事業（英語学力向上事業）

新

決算書

182ページ

担当

総務学事課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29年度	295				295

市内中学校に在籍する3年生に対し、3級以上の英語検定の受験費用を助成することで、義務教育終了時において英語の基礎的な学習内容の定着及び英語学習の意欲向上を図っています。

### 【事業の実施状況】

○ 役務費 295千円

	平成28年度（事業未実施）	平成29年度
生徒数	197人	175人
3級以上取得者	23人	55人
取得率	11.7%	31.4%
広島県平均	20.4%	26.4%
全国平均	18.1%	22.0%

## 人権啓発推進事業

拡充

決算書

110ページ

担当

自治振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	466	51			415
28年度	1,021	673			348
29年度	357	51			306

人権擁護委員及び市民グループと連携し、「大竹市人権教育・啓発推進指針」に沿って、人権啓発を進めています。

### 【事業の実施状況】

- 人権の花運動 51千円  
人権の花としてチューリップの栽培セットを小学校へ配付しました。
- 人権街頭啓発 34千円  
大竹・和木川まつり花火大会で啓発活動としてうちわを配布しました。
- 人権啓発講座 9千円（講師料の一部）  
生涯学習課と共催で、蓮池薫さんの講演会～夢と絆～を開催しました。
- その他 85千円  
旅費、消耗品費、人権新聞等購入費
- 《補助金及び負担金》
- 広島県西部人権教育啓発推進協議会負担金 10千円
- 犯罪被害者支援施策負担金 30千円
- 廿日市人権擁護委員協議会負担金 138千円

※大竹市犯罪被害者等支援条例に規定する見舞金事案はありませんでした。



## 奨学金貸付事業

拡充

決算書  
176ページ  
担当  
総務学事課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	14,856			17,254	△ 2,398
28年度	11,136			14,444	△ 3,308
29年度	7,608			13,612	△ 6,004

優秀な生徒・学生であって、経済的理由により高校や大学などへの就学が困難な方に対し、学資を貸し付けることで有用な人材の育成を図っています。平成24年度から定住促進の一環として、市内に一定期間居住することを要件に返還免除制度を行っています。

### 【奨学金貸付の状況】

新規貸付者	3人	新規貸付額	1,296千円
継続貸付者	15人	継続貸付額	6,312千円
返還者※	134人	返還額	13,612千円
返還免除者	41人	返還免除額	6,228千円

※返還免除者を含む。



## こども相談室運営事業

決算書  
177ページ  
担当  
総務学事課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	4,251				4,251
28年度	4,313				4,313
29年度	4,210				4,210

家庭などで問題を抱えながら生活している子ども・保護者に対し、幼児期から青年期まで一貫した相談ができる場所を提供するとともに、不登校の児童・生徒に対し、学習・生活の支援を行い、自立への基礎を培えるよう、相談・指導・助言を行いました。

### 【事業の実施状況】

教育相談教室…専門職員2人で、相談等を受けています。

(相談件数)	平成27年度	1,074件 (うち電話相談	464件)
	平成28年度	1,333件 (	894件)
	平成29年度	1,095件 (	704件)

- 報酬 2,926千円 (共済費含む)
- その他 (需用費等) 1,284千円



## 読書活動推進事業

決算書  
179,182ページ  
担当  
総務学事課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	1,388			1,376	12
28年度	1,431			1,414	17
29年度	1,245			1,245	

児童・生徒及び教職員にとって居心地がよく、新たな知識の発見や学びが創出できる学校図書館づくりを目標に、読書活動推進員を配置し、図書を活用した学習の指導補助等、読書及び学習環境の改善のほか、蔵書整理など学校の負担軽減に努めました。

### 【事業の実施状況】

小学校担当推進員，中学校担当推進員各1人，合計2人を配置しました。

読書活動推進員による蔵書整理，児童への読み聞かせ，図書館だよりの発行，掲示物作成等，多様な読書活動の実施により，児童・生徒が読書を楽しみ，読書に親しむ環境づくりを行いました。

- 賃金 1,235千円
- 共済費 10千円

※ 防衛省再編交付金基金を活用しています。



## 学習環境サポート事業

決算書  
179,180,182ページ  
担当  
総務学事課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	13,205			13,205	
28年度	17,478			16,907	571
29年度	17,330			17,330	

発達障害等により，教育活動上，支援が必要な児童・生徒へのサポートのため，学級支援員を配置し，対象児童・生徒の学習支援と周囲の児童・生徒の理解促進に取り組むことで，学級の学習環境の改善のほか，学校の負担軽減と保護者の不安解消に努めました。

### 【事業の実施状況】

小・中学校6校に12人の学級支援員を配置しました。

- 賃金 16,136千円
- 共済費 1,181千円
- 旅費 13千円

※ 防衛省再編交付金基金を活用しています。



# 放課後子ども教室事業

決算書

187ページ

担当

生涯学習課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	2,460	1,640			820
28年度	2,612	1,741			871
29年度	2,543	1,694			849

放課後・週末の子どもの安心・安全で有意義な居場所を確保し、体験活動やスポーツ・学習機会を提供します。


次世代育成支援事業として地域や各団体・企業等と連携し、「放課後子ども教室運営委員会」を設置し、「放課後子ども教室」を開催しています。

## 【事業の実施状況】

- 開催教室 テニス、バドミントン、卓球などのスポーツ教室と様々な体験活動を行う教室
- 場 所 総合体育館、総合市民会館、栄公民館、玖波公民館、小方小学校
- 対 象 市内在住の小学生
- 参加者 延べ 3,679人



## (2) 生活基盤が整ったまちづくり



**観光宣伝等事業**  
(三倉岳県立自然公園整備事業建設負担金)


決算書  
151ページ  
担当 産業振興課

新

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29年度	463				463

広島県が実施する三倉岳県立自然公園内のトイレを集約化する事業の一環として、平成29年度に公衆トイレ新設設計業務が実施されたため、費用の一部を市が負担しました。

【事業の実施状況】  
○ 負担金 463千円  
※広島県建設事業負担金条例に基づき1/10を市が負担します。



**小方地区のまちづくり事業**

決算書  
161ページ  
担当 企画財政課

新

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29年度	5,875	5,875			

JR新駅の設置を前提として、小方小・中学校及び市民プール跡地を民間活力により整備・開発し、周辺の晴海臨海公園、亀居公園などと連動した相乗効果により、小方地区だけでなく市全体の魅力を向上させていきます。

平成29年3月に策定した「小方地区のまちづくり基本構想」をふまえ、平成29年度は、小方中学校跡地西側(国道2号側)の「にぎわい交流ゾーン」を中心とするエリアの開発の可能性を高めるため、整備条件・方向性の整理、民間事業者等への市場調査、事業スキームの検討などを行いました。

【事業の実施状況】  
○ 小方まちづくり「にぎわい交流ゾーン」立地検討業務  
委託料：5,875千円  
・地域活性化施設(にぎわい創出の核となる施設)の抽出・選定  
・開発コンセプト、にぎわい創出の方向性の設定  
・市場調査(運営事業者等との意見交換・ヒアリング) 全18者  
・導入する機能・施設、事業手法の検討 など

※ 防衛省再編交付金を充当しました。





## 晴海臨海公園整備事業 (ファミリーゾーン遊具整備)

新

決算書  
163ページ  
担当  
都市計画課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29年度	114,919	108,222			6,697

※上記事業費には事務費を含みます。

子どもから高齢者まで多様な人々の憩いの場となる、ファミリーゾーンの整備に着手しました。平成29年度は、遊具広場の敷地造成工事を行い、大型複合遊具ロボボファクトリーや乳幼児向け遊具、大人向けの健康遊具などを設置しました。

### 【事業の実施状況】

- 工事請負費
  - 晴海臨海公園遊具広場整地工事 3,240千円
  - 晴海臨海公園複合遊具等設計・設置工事 99,818千円
  - その他工事 2,568千円
- 委託料 3,780千円
- 事務費 5,513千円

※ 防衛省再編交付金を充当しました。

## 白石墓地移転事業

拡充

決算書  
125～126ページ  
担当  
環境整備課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29年度	5,354				5,354

地域防災の観点から、国が白石地区に施工予定の砂防ダムの整備に伴い、計画区域内にある白石墓地を、国の公共補償による(仮称)市営白石墓苑として移転整備する業務を行いました。

### 【事業の実施状況】

- ・ 移転に関する意向調査及び寄附受納に関する事務
  - ・ (仮称)市営白石墓苑の整備に関する実施設計作成業務
  - ・ (仮称)市営白石墓苑の整備に関する地元住民説明会の開催
- 報酬 3,529千円 (共済費含む)
  - 旅費 6千円
  - 役務費 19千円
  - 委託料 1,800千円



# 林道橋りょう長寿命化事業

拡充

決算書

145ページ

担当

土木課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
28年度	3,264	1,970	900		394
29年度	6,059	3,650	2,000		409

※上記事業費には事務費を含みます。

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い林道橋りょうの補修・改修を計画的に行っています。平成29年度は小栗林線2号橋の改修を行いました。

## 【事業の実施状況】

対象橋りょう	事業概要	工事費	事務費	事業費計
小栗林線2号橋	橋りょう改修 橋長L=4.0m	5,771	288	6,059



# 漁港施設維持管理事業

拡充

決算書

147ページ

担当

土木課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
28年度	8,058	3,360			4,698
29年度	26,068	10,621	7,400		8,047

※上記事業費には事務費を含みます。

阿多田漁港・玖波漁港の各機能保全計画書に基づき、老朽化度及び健全度の評価を行い、緊急度の高いものから、今後50年間のライフサイクルコストを比較し、対策工法を選定して施設維持保全を行っています。

## 【事業の実施状況】

対象	事業概要	工事費等	事務費	事業費計
猪子西浮棧橋	係留チェーン4本取替工	16,828	844	17,672
玖波漁港道路	幅員6m 延長25m 舗装打替工事	2,176	109	2,285
その他漁港施設	玖波漁港内堆積物除去 外9件	5,793	318	6,111



## 玖波駅西口駅舎維持管理事業

決算書  
92ページ  
担当  
自治振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	8,182	5,800		124	2,258
28年度	11,565			247	11,318
29年度	11,619			264	11,355

玖波駅西口駅舎を安全・快適に利用できるよう維持管理しています。

### 【事業の実施状況】

- 需用費 889千円
- 委託料 10,730千円



## 地域公共交通整備事業

決算書  
92～93ページ  
担当  
自治振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	183,100	16,235		131,446	35,419
28年度	83,248	17,367		28,911	36,970
29年度	73,963	11,588		29,832	32,543

市民の皆さんが親しみを感じ、「市民自らが創り・守り・育てる」公共交通となるよう、利用促進に努めています。

### 【事業の実施状況】

- 廃止代替バスとして運行を継続しました。  
栗谷線代替バス運行委託料 12,098千円  
坂上線代替バス運行委託料 9,992千円
- 離島航路事業者の経営安定化に必要な資金の融通を円滑にするため預託しました。  
離島航路運営資金預託金 20,000千円
- その他（報償費、旅費、公共交通活性化基金積立金） 181千円  
《補助金及び負担金》
- 地域公共交通活性化協議会負担金 300千円
- 谷和地区及び広原地区の生活交通手段を確保する事業に補助しました。  
谷和地区タクシー運行補助金 243千円  
広原地区タクシー運行補助金 96千円
- 離島航路運営に係る欠損額に対して補助しました。  
離島航路補助金 20,052千円
- こいこい（幹線）バス、三ツ石地区乗合タクシー及び湯舟のりあいタクシーの本格運行、ひまわりタクシー（玖波7・8丁目）及び栄ぐるりんバス（平成30年3月に栄ぐるりんタクシーに変更）の実証運行に対して補助しました。  
公共交通整備事業補助金 11,001千円※

※防衛省再編交付金基金を活用しました。

## 斎場管理事業

決算書  
127～128ページ  
担当  
環境整備課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	34,095				34,095
28年度	25,935				25,935
29年度	27,154				27,154

火葬などの行事が滞りなく行われるよう、施設の適切な運営に努めています。このため、日常の整備・点検に基づき、計画的な施設の改修・修繕に取り組みました。

### 【事業の実施状況】

- ・火葬件数 384件
- ・斎場設備の保守点検及び場内清掃
- ・火葬炉主燃内及び再燃炉耐火材の修繕工事
- ・喫煙所カーテンの設置工事（防寒対策）
- ・正面玄関自動扉の半自動化工事（タッチ式スイッチの取付）

## 可燃ごみの広域処理事業

決算書  
135～136ページ  
担当  
環境整備課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	13,872		1,400		12,472
28年度	114,911		98,000		16,911
29年度	421,167		420,400		767

※上記事業費には事務費を含みます。

「廿日市市が整備する一般廃棄物処理施設のうち焼却施設等の整備及び維持管理に係る基本協定書」の合意事項に基づき、平成31年度からの稼働に向け、各事業に取り組みました。

平成29年度も引き続き廿日市市内に整備中の次期一般廃棄物処理施設の建設及び関連事業等に要する経費に係る本市負担分を拠出しました。

本市に整備予定の可燃ごみを集積する中継施設の基本設計及び整備委託に係る発注仕様書を作成しました。

### 【事業の実施状況】

- 中継施設整備基本計画・基本設計業務委託料 4,860千円
- 次期一般廃棄物処理施設整備運営事業設計施工監理業務負担金 9,266千円
- 一般廃棄物処理施設前面道路現地測量業務負担金 497千円
- 一般廃棄物処理施設前面道路交差点設計業務負担金 1,313千円
- 次期一般廃棄物処理施設建設工事負担金 405,098千円
- 事務費 133千円

## ごみ減量化・資源化促進事業

決算書

135～136ページ

担当

環境整備課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	10,388			10,388	
28年度	11,062			11,062	
29年度	9,801			9,801	

家庭から排出されるごみを資源として有効に活用するなど、ごみの減量化を推進するために、さまざまな事業に取り組みました。

### 【事業の実施状況】

- ・13区分による分別収集の徹底に努め、資源としての有効的な活用を進めました。
- ・リサイクルセンターへの家庭ごみの搬入に「事前予約制度」を実施し、受付時に住所確認を行い、市外からのごみや事業系ごみの家庭ごみとしての搬入を防止しました。
- ・生ごみの堆肥化による減量を積極的に進めるため、補助金交付制度の周知に努め、生ごみ処理容器の購入に対して、補助しました。
- ・ごみの分別方法やごみの排出に係るルール等について詳しく掲載した、ごみ収集カレンダーを市内全世帯に配布し、適正なごみ出しや資源としての有効な活用を促しました。
- ・シルバー人材センターが、リサイクルセンター内に集積したせん定枝等をチップ化し、腐葉土として販売する取組に対して支援し、せん定枝等の資源化を進めました。
- ・市役所、各支所及び公民館等9カ所に設置した使用済小型家電回収ボックスに持ち込まれた小型家電製品を回収し、資源として活用するためリサイクルを行いました。



## ひろしま地産地消促進事業

決算書

141ページ

担当

産業振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
28年度	1,100	550			550
29年度	17,000	8,500			8,500

マロンの里を中心に、地域一体となって農産物を給食センターへ出荷しました。また、キクイモをはじめ、大竹市産の農産物を使用した特産品の試作・開発などに取り組みながら、地域農業の活性化と地産地消を促進する事業を展開しました。

平成29年度は、店内に入りやすい外装と商品が見えやすい内装に直売所をリニューアルしました。また、野菜保冷庫を設置をしたほか、マロンの里交流館の指定管理者であるJA佐伯中央に、6次産業化取組業務（検討会、ワークショップ、特産品試作等）を委託しました。

### 【事業の実施状況】

- 委託料 9,630千円
- 工事請負費 5,853千円
- 備品購入費 1,512千円
- 需用費 5千円



## ひろしまの森づくり事業

決算書  
144～145ページ  
担当 産業振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	12,300	12,300			
28年度	13,930	13,400		30	500
29年度	9,536	9,000		30	506

県土の保全や水源かん養など森林の有する公益的な機能を持続的に発揮させるため、「ひろしまの森づくり県民税を財源」として、森林を守り育てる事業を実施しました。除間伐、植栽体験の開催、放置森林の整備、木製看板の設置を行いました。

### 【事業の実施状況】

- 補助金 5,919千円
- 委託料 3,103千円
- 報酬、需用費等 514千円



## 産業振興奨励事業

決算書  
149ページ  
担当 産業振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	2,985				2,985
28年度	7,964				7,964
29年度	41,325				41,325

産業の振興のため、新たに設備投資等を行った事業所に「産業振興奨励金」を交付しました。

### 【事業の実施状況】

- 産業振興奨励金  
新たに設備投資等を行った事業者に対し5千万円を上限として、固定資産税の増加課税標準額（家屋及び償却資産）に1,000分の14を乗じた額に相当する額を奨励金として交付します。

〔奨励対象〕・大企業：増加課税標準額 5億円以上  
・中小企業：増加課税標準額 5千万円以上

〔交付年数〕・1年のみ 100/100

(単位：千円)

企業・事業所名	27年度	28年度	29年度
株式会社トライアルカンパニー		7,964	
株式会社T&Tインベションズ	916		
大竹明新化学株式会社	2,069		
医療法人村井内科			888
三井化学株式会社			13,785
三菱ケミカル株式会社			10,290
株式会社川廣			3,650
株式会社ダイセル			12,712
計	2,985	7,964	41,325



## 中小企業経営安定支援事業 (技能者等人材育成支援)

決算書  
149ページ  
担当  
産業振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
28年度	195				195
29年度	561				561

市内の中小企業の従業員の技術力向上のため、民間教習機関等が実施する小型移動式クレーン運転、フォークリフト運転、高所作業車運転、玉掛け等の労働安全衛生法に定められた技能講習(39講習)受講料の半額を助成する事業を平成28年度に引き続き実施しました。

【受講実績 10事業所 48人】

●玉掛け技能講習14人 ●酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習5人 ●フォークリフト運転技能講習2人 ●特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習1人 ●ガス溶接技能講習1人 ●乾燥設備作業主任者技能講習4人 ●高所作業車運転技能講習1人 ●小型移動式クレーン運転技能講習7人 ●普通第一種圧力容器取扱作業主任者技能講習3人 ●型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習1人 ●床上操作式クレーン運転技能講習8人 ●ボイラー取扱技能講習1人



## 商店街等振興奨励事業 (商店活性化補助金)

決算書  
150ページ  
担当  
産業振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
28年度	878				878
29年度	700				700

商業活性化のため、市内の店舗で事業を営む事業者3人以上で構成されたグループが提案し、実施する事業に対して助成金(上限額:25万円)を交付する「事業者連携チャレンジ事業」を平成28年度に引き続き実施しました。本事業は平成28年10月に制度を創設し、平成29年度は次の3つの事業に助成金を交付しました。

【事業名:グループ名】

●ぶれ起業女子応援プロジェクト!~輝く明日を手に入れよう~「大竹起業サポートセミナー&交流会」:広島微魔女会ドリーム大竹

起業したい女性を対象としてセミナー及び交流会を開催し、延べ33人が参加しました。セミナーでは、専門家を招いて、起業したい事業について事業計画書を作成し、交流会では、講演会をはじめ、セミナー受講者による発表会、受講者と先輩起業家等との情報交換会を行いました。[11月5日、19日、12月3日、6日開催]

●大竹駅前うまいもの市 withバンブーライブ&F・Mおおたけ、そして、う、ふ、ふ。:ひろば

大竹駅前、事業者、音楽グループ、特産品グループ等の11の店舗・団体が連携して、音楽ライブや特産品の販売などのイベントを開催し、約4,000人の来客がありました。[2月24日開催]

●プチマルin大竹:プチマルin大竹実行委員会

立戸集会所で、様々な業種の事業者や地元自治会等が連携して、小さい市場的なイベント「プチマルin大竹」(21店舗)を開催し、約160人の来場がありました。[3月17日開催]

## 橋りょう長寿命化事業

決算書  
155～156ページ  
担当

土木課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	14,059	7,002	1,600		5,457
28年度	38,390	18,240	11,200		8,950
29年度	111,945	49,766	34,700	6,239	21,240

※上記事業費には事務費を含みます。

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、予防保全的補修と点検を計画的に行うことにより、橋りょうの補修・更新に係る費用の縮減と平準化を図りました。

### 【事業の実施状況】

対象橋りょう	事業概要	工事費等	事務費	事業費計
恵川橋	橋脚の補修 (H28繰越分)	34,079	250	35,117
	河床洗掘防止工 (H28繰越分)	788		
	上部工の補修	22,693		
能保里橋	橋りょう補修	42,477	3,440	76,828
新町橋	補修設計	2,322		
その他40橋	橋りょう定期点検	5,896		

## 道路・橋りょう新設, 改良事業

決算書  
157ページ  
担当

土木課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	52,033	15,200	25,300		11,533
28年度	106,134	64,159	34,300		7,675
29年度	36,182	22,824	11,900		1,458

※上記事業費には事務費を含みます。

交通安全と道路環境の向上のため、市道の改良事業を進めています。平成29年度は側溝改良（暗渠化）による道路幅員の有効利用、舗装改良による道路環境の改善、歩道整備などを目的に次の路線を実施しました。

### 【事業の実施状況】

(単位:千円)

路線名	事業概要	工事費等	事務費	事業費計
本町元町1号線	道路側溝の整備と舗装改良 工事延長 L=71.4m	8,875	240	9,115
西栄南栄2号線	道路側溝の整備と舗装改良 工事延長 L=86.9m	17,583	666	18,249
青木線	道路側溝の整備と舗装改良 工事延長 L=23.7m	2,683	73	2,756
元町木野線	道路法面の改良に伴うポールの調査, 概略検討	4,335	240	4,575
南栄下白石線	青木踏切改良に伴う測量	499	43	1,487
その他	郷水第2踏切・青木踏切交通量調査, 阿多田床版補修に伴う測量	945		

※一部防衛省再編交付金を充当しました。



# 県道等整備事業（県営事業負担金）

決算書  
157ページ  
担当

監理課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	15,092		15,000		92
28年度	16,796		15,100	100	1,596
29年度	11,747		10,500		1,247

県が管理する市内の道路の改良について、「広島県建設事業負担金条例」に基づき、県に対して負担金を支出しました。

## 【事業の実施状況】

路線名等	地区名	事業内容	全体事業費 (千円)	市負担率	市負担額 (千円)
国道186号	安条～油見	○道路改良工事 ・工事延長 L=574.5m 土工 V=1,961m <sup>3</sup>  ○道路改良測量業務 ・道路詳細設計 L=436m 擁壁設計 N=1式 箱型函渠詳細設計 N=1式 樋門詳細設計 N=1式  ○道路改良測量業務 ・用地測量 A=1.07万m <sup>2</sup>  ○道路改良工事 ・工事延長 L=1970.3m 切削オーバーレイ A=1,110m <sup>2</sup> 除草工 A=2,500m <sup>2</sup> 伐採工 1式	47,183	1/10	4,719
岩国大竹線	木野	○道路改良測量業務 ・国土交通省 中国地方整備局	28,301	1/10	2,830
大竹湯来線	玖波	○道路改良測量業務 路線測量 L=500m 現地測量 A=32m <sup>2</sup> 道路予備設計 L=650m 道路詳細設計 L=500m	41,983	1/10	4,198



# 港湾施設の修築・改良事業 (県営事業負担金)

決算書  
160ページ  
担当

監理課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	17,940		17,900		40
28年度	15,667		12,900	88	2,679
29年度	14,893		12,000	300	2,593

県が管理する港湾整備事業について、「広島県建設事業負担金条例」に基づき、県に対して負担金を支出しました。

## 【事業の実施状況】

港湾名称	地区名	事業内容	全体事業費(千円)	市負担率	市負担額(千円)
大竹港	御幸町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工事延長 L=190.8m ・護岸工 C o V=350m<sup>2</sup></li> <li>○護岸本体工 L=50.1m</li> <li>○設計業務 ・護岸設計 N=1式</li> <li>○測量業務 ・路線測量 L=50m</li> </ul>	60,000	1/10	6,000
	東栄	<ul style="list-style-type: none"> <li>○荷捌き地舗装 A=1,392m<sup>2</sup> ・東栄緑地補修 一式</li> <li>○荷捌き地エプロン補修 A=1,845m<sup>2</sup></li> </ul>	26,680	1/3	8,893





## 都市計画マスタープラン等策定事業

決算書  
161ページ  
担当  
都市計画課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
28年度	4,734				4,734
29年度	1,560				1,560

まちづくりの将来ビジョン、地区別のあるべき市街地像を示すとともに、地域別の整備方針や経済活動等を支える諸施設の都市計画の方針を明らかにするための次期都市計画マスタープランを平成30年度までに策定します。平成28年度から3ヶ年の計画で実施しており、平成29年度は大竹、小方、玖波の3地域で住民参加によるワークショップと、若手職員によるワークショップを行い、都市づくりの課題を洗い出しました。そこで出た意見や平成28年度に実施した現況分析データをもとに資料を作成し、庁内検討委員会、都市計画審議会において、目指すまちの将来像について検討しました。

### 【事業の実施状況】

- 委託料 1,560千円



## 大竹駅周辺整備事業

決算書  
162ページ  
担当  
都市計画課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	24,784	24,784			
28年度	27,430	22,979		3,263	1,188
29年度	35,190	31,908		3,282	

※上記事業費には事務費を含みます。

JR山陽本線で分断されている大竹駅周辺の交通ネットワークの形成と活性化を目的とし、東西間を跨線橋の自由通路で結び、駅東側に交通広場を整備する「大竹駅東口広場整備事業」に平成7年度から取り組んできましたが、景気の低迷や、地権者・関係機関との調整の難航などにより、事業が延伸されてきました。

一方で、「大竹駅及び駅周辺のバリアフリー化、橋上駅の実現等についての陳情」が議会で採択されたことや、人口減少、少子化・高齢化、地球温暖化などの社会環境の変化、「第五次大竹市総合計画（わがまちプラン）」などとの整合を図り、平成23年度に大竹駅周辺のまちづくりや整備のあり方を見直し、「大竹駅周辺整備新構想」を策定しました。『すべての人が利用しやすく、住みよいまちへ～「交通・賑わい・シンボル・生活・交流」拠点づくり～』を基本コンセプトとし、事業に取り組んでいます。

平成29年度は、関係機関と事業実施に向けた事前協議、鉄道事業者に対する補償費の算定を行いました。

### 【事業の実施状況】

- 委託料（大竹駅周辺整備事業に伴う補償費算定業務）30,240千円  
（都市計画変更資料作成業務）3,111千円
- 事務費 1,839千円

※一部防衛省再編交付金を充当しました。



## 空家対策事業

決算書  
164～165ページ  
担当  
都市計画課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
28年度	2,000				2,000
29年度	4,922	2,421			2,501

空家等対策の推進に関する特別措置法の制定により、空家等対策計画の作成、変更及び実施に関する協議を行うための協議会を設置し、空家等の適正管理による有効活用、老朽化等が著しい空家等の速やかな除却を促進するために、総合的な空家等対策を推進します。

平成28年度は、協議会を3回開催し、空家等対策計画を策定しました。

平成29年度は、協議会を2回開催し、市内全域の空き家数を把握し、不良度を確認しました。

### 【事業の実施状況】

- 報酬・旅費 (協議会) 78千円
- 委託料 (空家等実態調査業務) 4,844千円



## 住宅改修等補助事業

決算書  
165ページ  
担当  
都市計画課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	1,991	865			1,126
28年度	2,148	952		1,196	
29年度	2,511	636			1,875

平成21年度に策定した耐震改修促進計画に基づき、昭和56年5月31日以前に着工された市内の戸建住宅の計画的な耐震改修を促進するため、耐震診断及び耐震改修の助成を行います。耐震診断費用の2/3(上限3万円)・耐震改修費用の1/2(上限40万円)を補助します。

市内の個人住宅の質の向上と定住促進のため、市内居住者及びその予定者に対して住宅リフォームに要する費用の助成を行います。補助対象の1/10(上限20万円)を補助します。

### 【事業の実施状況】

- 補助金(耐震診断) 30千円(補助件数:1件)
- 補助金(耐震改修) 300千円(補助件数:1件)
- 補助金(リフォーム) 2,181千円(補助件数:20件)



# 市営住宅御園団地整備事業

決算書  
165～166ページ  
担当  
都市計画課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	56,456	23,893	31,200	1,363	
28年度	620,100	265,725	354,300	75	
29年度	694,607	287,155	403,600	2,793	1,059

※上記事業費には事務費を含みます。

御園2・3号アパート及び御園団地の木造・簡易耐火平屋を統合し、御園6号アパートの建設及び周辺整備を行いました。

平成26年度は、宅地造成の実施設計、建物の基本設計を行いました。

平成27年度は、開発造成工事、建設実施設計を行いました。

平成28年度は、建設工事を行いました。

平成29年12月に完成しました。

(平成27年度から平成29年度の継続事業です。)

## 【事業の実施状況】

- 工事請負費 (御園6号棟建設工事) 645,394千円
- 委託料 (御園6号棟建設工事監理業務) 10,368千円
- (御園6号棟確定測量業務) 3,996千円
- (御園2・3号棟解体設計業務) 2,579千円
- 事務費 32,270千円

# 岩国大竹道路建設事業

決算書  
—  
担当  
監理課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	0				0
28年度	0				0
29年度	0				0

※国の事業のため、事業費は計上していません。

国の事業である岩国大竹道路の建設に伴う用地の先行取得を、平成17年度から平成26年度まで行っており、市は、大竹市土地開発公社が行うこの用地の取得に係る借入金に対して、債務を保証する債務負担行為を設定しました。

## 【事業の実施状況】

	17～27年度	28年度	29年度
用地取得進捗率(%)	56.2	59.0	62.0

※国土交通省の資料による

※「債務負担行為」とは、数年度にまたがって行われる事業において、契約はその年度に行うものの、支払いについては将来にわたって行うことを約束する行為をいいます。

※先行取得した土地は、後年度に借入金にかかる利子や事務費も含めて、国が再取得を行いました。

## 防鹿地区公共下水道整備事業

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	62,229	31,000	31,000		229
28年度	23,725	10,000	13,600		125
29年度	10,069	4,425	5,600		44

防鹿地区の居住環境の改善や公衆衛生の向上のため、下水道整備を行うものです。平成29年度は、管渠を布設しました。

整備完了区域は平成29年度から順次、供用開始し、平成30年度までにすべての区域の整備が完了する予定です。

## 【事業の実施状況】

- 管渠φ200mm, L=194.0m
- 公共柵及び取付管 N=15箇所

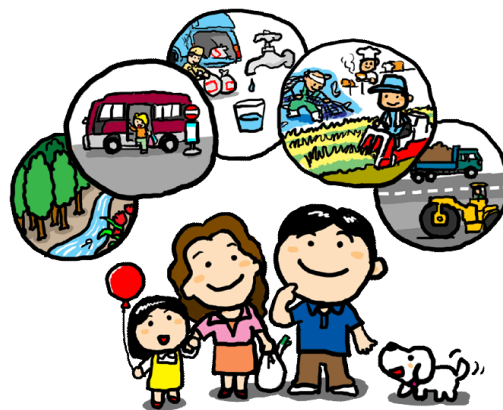
## 下水処理場汚泥処理棟機械電気設備改築更新事業

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
28年度	120,000	66,000	41,400	12,420	180
29年度	261,197	140,250	93,000	27,816	131

大竹市下水道長寿命化計画に基づき、当該施設の機械電気設備（汚泥脱水機1台）の改築更新を行いました。なお、平成28年度から平成29年度の継続事業です。

## 【事業の実施状況】

- 機械設備 1式  
汚泥脱水機 1台, その他付帯機械設備 1式
- 電気設備 1式  
受変電設備 1式, その他付帯電気設備 1式



# (3) 安全なまちづくり



## 浸水対策事業 (東栄地区水路改良事業)

新

決算書  
159ページ  
担当  
土木課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29年度	1,799	1,798			1

※上記事業費には事務費を含みます。

大雨時に発生する南栄地区の浸水を緩和するため、東栄地区における元町南栄排水路の下流のクランク形状の改良を行うため、平成29年度は調査設計を行いました。

【事業の実施状況】 (単位：千円)

箇所名	事業概要	委託費	事務費	事業費計
元町南栄排水路	改良調査設計(東栄地区)	1,671	128	1,799

※ 防衛省再編交付金を充当しました。

## 消費生活相談事業

拡充

決算書  
148~149ページ  
担当  
産業振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	3,045	2,039			1,006
28年度	2,325	1,314			1,011
29年度	2,718	1,679			1,039

市民の消費生活の安定と向上のため「大竹市消費生活センター」で、消費生活相談員による相談業務(週2日)や、消費生活に関する啓発活動を行いました。平成29年度は、迷惑電話防止装置(トビラフォン)モニター事業を行い、架空請求等の詐欺の未然防止に努めました。

- 相談業務  
場所 大竹市小方一丁目11番1号(大竹市役所産業振興課内)  
受付時間 毎週火・金曜日(祝日・年末年始を除く)9時~16時
- 啓発活動
  - ①出前講座【高齢者支援ネットワーク会議(ケアマネジャー)、自治会連合会女性部】
  - ②イベント啓発【コイ・こいフェスティバルで啓発ブースを設置】
  - ③広報紙に消費生活に関する記事を掲載
  - ④チラシ・啓発用グッズの配布
  - ⑤コミュニティバスのバス停ベンチに広告を掲載
- 報酬 972千円
- 委託料 620千円
- その他(需用費・役務費等) 1,126千円



○ 年度別相談件数

年度	件数	種別		年度	件数	種別	
27年度	62	架空請求	10	29年度	108	架空請求	60
		多重債務	0			多重債務	1
		訪問販売	5			訪問販売	5
		電話販売	12			電話販売	5
		マルチ商法	2			マルチ商法	3
		通信販売	7			通信販売	12
		その他	26			その他	22
28年度	76	架空請求	8				
		多重債務	6				
		訪問販売	5				
		電話勧誘	10				
		マルチ商法	0				
		通信販売	23				
		その他	24				



## 消防団資機材整備事業

拡充

決算書 170ページ

担当

消防本部

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
28年度	5,184	5,184			
29年度	10,497	6,879	3,600		18

消防団第9分団（玖波地区）の積載車1台と第11分団第2部（谷尻，広原）に手引小型動力ポンプ2台を更新しました。

【事業の実施状況】

- 備品購入費 消防団積載車 6,879千円
- 小型動力ポンプ 3,618千円





## 防犯対策事業

決算書  
92～93ページ  
担当 自治振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29年度	4,041	1,036			3,005

防犯カメラシステムの維持管理を行うとともに、地域の防犯活動に取り組む団体に対して補助しています。

### 【事業の実施状況】

防犯カメラシステム

- 維持管理費（電気料、インターネット回線料） 594千円
- 備品購入費（2台新設） 1,037千円※
- 《補助金及び負担金》
- 暴力監視追放協議会補助金 100千円
- 防犯連合会補助金 2,310千円

※一部防衛省再編交付金を充当しました。

## 河川・水路改良保全事業

決算書  
159ページ  
担当 土木課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	29,418		13,700	1,039	14,679
28年度	26,027		10,500	337	15,190
29年度	28,471		13,200		15,271

※上記事業費には事務費を含みます。

河川水路の流下能力の向上による、溢水等の被害解消と生活環境の改善を目的に、老朽化した既存河川・水路護岸の改修を行いました。

### 【事業の実施状況】

(単位：千円)

河川・水路名	事業概要	工事費等	事務費	事業費計
元町南栄排水路	水路改修	12,554	779	14,764
その他水路等	設計業務	1,431		
その他水路等	水路補修・浚渫等	12,992	715	13,707
	計	26,977	1,494	28,471

# 急傾斜地崩かい対策事業

決算書  
159ページ  
担当  
土木課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	10,329	5,000	5,300		29
28年度	11,978	5,000	5,200		1,778
29年度	12,352	6,000	6,300		52

※上記事業費には事務費を含みます。

市内の急傾斜地崩かい危険箇所について、宅地背面の崖面崩かいを防ぐための擁壁設置等の斜面崩かい防止対策工事を実施しました。

## 【事業の実施状況】

事業年度	施工箇所	工事延長(m)	工事費等(千円)	事務費(千円)	事業費計(千円)
27年度	木野2丁目A地区	10.0	10,329		10,329
28年度	木野2丁目A地区	15.8	11,658	320	11,978
29年度	木野2丁目A地区	32.0	12,022	330	12,352

# 急傾斜地崩かい対策事業(県営事業負担金)

決算書  
159ページ  
担当  
監理課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	1,968		1,900		68
28年度	2,129		1,900		229
29年度	4,044		3,400	365	279

県が管理する急傾斜地の崩かい対策事業について、「広島県建設事業負担金条例」に基づき、県に対して負担金を支出しました。

## 【事業の実施状況】

地区名	事業内容	全体事業費(千円)	市負担率	市負担額(千円)
後原	○法面処理工事 ・工事延長 L=55.8m ・擁壁工 V=290㎡ ・排水路工 L=57.3m	20,500	1/20	1,025
	○土木一式工事 ・工事延長 L=18.6m ・擁壁工 V=134㎡ ・排水路工 L=18m			
立戸	○法面処理工事 ・工事延長 L=23.0m ・吹付法砕工 A=501㎡	60,378	1/20	3,019

## 消防力強化事業(防火水槽設置工事)

決算書  
168ページ  
担当  
消防本部

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
28年度	7,241		7,200		41
29年度	22,982		22,900	82	

※上記事業費には事務費を含みます。

阿多田地区の消防水利を強化するため、阿多田島漁業協同組合南側の広場に容量60㎡の防火水槽を設置しました。

### 【事業の実施状況】

- 工事請負費 21,769千円
- 事務費 1,213千円

## 阿多田防災コミュニティグラウンド整備事業

決算書  
172ページ  
担当  
総務課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29年度	35,173	35,173			

※上記事業費には事務費を含みます。

旧阿多田小学校グラウンドを広場として整備しました。地震や津波災害等では一時避難場所として、また平時には運動やレクリエーションに使用します。  
トイレ・防災倉庫・東屋を建築しました。

### 【事業の実施状況】

- 工事請負費 33,483千円
- 事務費 1,690千円

※ 防衛省再編交付金を充当しました。



# (4) 安心できるまちづくり

## 障害者等自立支援給付事業

拡充

決算書

108ページ

担当

福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	380,617	285,462			95,155
28年度	384,122	288,091			96,031
29年度	429,623	322,102			107,521

自立支援給付は、障害者の自己決定を尊重し、利用者本位でのサービス提供を基本としています。障害者が自らサービスを選択して、契約を交わした後にサービスを利用します。サービスには、介護給付、訓練等給付、相談支援給付、補装具があります。29年度には、市内に新たな就労継続支援B型事業所が1カ所増えました。

### 【事業の実施状況】

年度	障害福祉サービス件数 (延人数)	相談支援給付件数 (延人数)	補装具件数 (延人数)
27年度	3,493	343	53
28年度	3,552	307	42
29年度	3,813	360	47

## 養護老人ホームゆうあいの里運営事業 (浴室等改修工事)

拡充

決算書

109ページ

担当

地域介護課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29年度	13,687		10,900		2,787

※上記事業費には事務費を含みます。

### 【事業の実施状況】

養護老人ホームゆうあいの里の施設内の様々な箇所に老朽化の影響が出ていたため、安心・安全に生活できるよう、浴室、誘導灯、スプリンクラーなどの改修工事を行いました。

工事名	金額(千円)	工事内容
浴室等改修工事	4,428	浴槽の水漏れ改修、脱衣室の床改修、バルブの交換等
誘導灯器具修繕	484	非常口誘導灯の取替
スプリンクラー工事	454	逆止弁取替、ヘッド増設等
エレベーター改修工事	1,237	インターホン・停電灯電源装置取替、油圧バルブオーバーホール等
非常灯修繕工事及び調査	1,043	非常灯バッテリー交換、不良箇所調査
室外機整備作業工事	734	室外機基盤、圧縮機等交換
その他	4,585	
合 計	12,965	



# 病児保育運営委託事業

拡充

決算書

116ページ

担当

福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	9,925	5,823			4,102
28年度	10,035	6,267			3,768
29年度	11,009	5,822		1,146	4,041

保護者の勤務の都合などにより、家庭で保育できない生後6か月から小学6年生までの児童で、保育所や幼稚園、小学校に通えない病児や病後児の保育を実施しました。

29年度から、広島広域都市圏内での「病児・病後児保育事業の相互利用に関する協定」の締結により、市民の市域を越えての利用が可能となりました。

## 【事業の実施状況】

平成26年4月から独立行政法人国立病院機構広島西医療センターに委託して病児・病後児保育室（愛称：にっしーくんハウス）を開設しています。

- 利用可能時間 月曜日から金曜日までの午前8時15分から午後6時まで
- 利用料 市内に住所を有する児童…1千円/日  
市外に住所を有する児童…2千円/日
- 利用定員 3人/日
- 委託料 10,909千円
- 広域利用負担金 100千円
- 年間利用者数 延べ434人



# 放課後児童クラブ事業

拡充

決算書

186～187ページ

担当

生涯学習課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	31,073	15,420		7,935	7,718
28年度	33,973	17,160		8,386	8,427
29年度	33,237	16,134		9,207	7,896

保護者が安心して働けるよう、保護者が仕事等で昼間家庭にいない児童に学校授業終了後に遊びや生活の場を提供し、仕事と子育ての両立を支援しています。28年度に高学年の待機児童が出た「みどり児童クラブ」では、一部学校の教室を使用するかたちでの「高学年を含めた受入れ体制」を整えました。

## 【事業の実施状況】

- 利用者数 ひかり児童クラブ（大竹小学校） 187人  
みどり児童クラブ（小方小学校） 143人  
あすなる児童クラブ（玖波小学校） 47人  
合計 377人

※ 短期的、一時的な利用者及び年度途中で退会された児童も含めた年間総利用者数です。

- 賃金 29,589千円（共済費含む）
- その他（需用費等） 3,648千円

## 生活困窮者自立支援事業

決算書  
103～104ページ  
担当

福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	17,269	11,250			6,019
28年度	17,185	11,269			5,916
29年度	17,064	12,127			4,937

さまざまな事情で働きたくても働けない、住む所がないなど、生活困窮者に対して専門の相談員がどのような支援が必要かを一緒に考え、寄り添いながら解決に向けた支援を行っています。相談窓口として、大竹市社会福祉協議会（よりそいサポートセンター）に事業委託をしています。

### 【事業の実施状況】

年度	新規受付件数 (件)	プラン作成件数(件)	住居確保給付金 利用件数(件)	就労者数(人)
28年度	63	4	2	0
29年度	70	7	3	6

- 委託料 16,723千円
- その他（需用費等） 341千円

## 地域見守り活動事業

決算書  
104ページ  
担当

地域介護課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	0			0	
28年度	0			0	
29年度	81			81	

株式会社ちゅぴCOMふれあいが大竹市民向けに提供している「見守りサービス」のメールアドレスの初期導入費用及び月額利用料を公費負担し、見守りが必要な65歳以上高齢者等の日常的な安否確認を行っています。

### 【事業の実施状況】

年度	相談件数(件)	申請件数(件)	支援決定件数 (件)
28年度	3	0	0
29年度	3	2	2

- 委託料 81千円

※ 防衛省再編交付金基金を活用しています。





## 地域福祉支援システム運営事業

決算書  
104～105ページ  
担当

地域介護課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	9,775	9,520			255
28年度	399				399
29年度	191				191

社会的支援を必要とする方の、平常時の見守りや災害時の支援を地域の中で受けることができるよう、平成27年度に導入した地域福祉支援システムを活用し、情報の蓄積を進め、地域福祉を推進します。

### 【事業の実施状況】

年度	情報蓄積件数
27年度	1,259件
28年度	1,280件
29年度	1,960件

- 委託料 45千円
- ネットワーク使用料 146千円



## 地域福祉担い手育成事業

決算書  
104ページ  
担当

地域介護課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
28年度	830	414			416
29年度	1,407	577			830

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできるよう地域福祉を推進するための事業を実施しました。地域福祉ニーズの把握と、それに必要な地域サービスの創出・推進およびその担い手育成を検討し、地域福祉推進に係るボランティア団体を育成していきます。

- (1) 地域福祉ニーズを把握するために必要となる事業  
⇒地域福祉活動・ボランティアに関するアンケート
- (2) 地域の福祉ニーズを踏まえた地域サービスの創出・推進のために必要となる事業  
⇒地域サービス及び担い手育成検討会  
見守り活動等に活用するための要援護者マップの作成
- (3) 地域におけるインフォーマル活動の活性化のための事業  
⇒ボランティア活動助成金交付（自治振興課：市民活動助成金交付事業）  
地域福祉担い手育成講演会、個別学習会等の開催（大竹市社会福祉協議会へ事業委託）

### 【事業の実施状況】

年度	アンケート回収率	地域サービス及び担い手育成検討会実施回数	要援護者マップの作成地区	ボランティア活動助成金交付団体	講演会及び研修会実施回数	地区懇談会実施回数
28年度	33.20%	3回	2地区	2団体	—	—
29年度	32.00%	1回	2地区	4団体	3回	43回

- 委託料 500千円
- 助成金 200千円
- 役務費（通信運搬費） 116千円
- その他（需用費等） 591千円

## 高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業

決算書  
108ページ  
担当  
地域介護課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29年度	3,234				3,234

### 【事業の実施状況】

平成30年度から平成32年度までの3年間の高齢者向けの事業や介護保険料などを示した、大竹市高齢者福祉計画・大竹市第7期介護保険事業計画を策定しました。本計画に基づき、高齢者施策の推進や介護保険事業の適正な運営を進めていきます。

## 児童福祉相談事業

決算書  
117~118ページ  
担当  
福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	7,386	164			7,222
28年度	7,676	222			7,454
29年度	8,793	220			8,573

専門知識を有する相談員2人を配置して、0歳から18歳未満の児童の養護、障害、非行、育成などの問題の相談・助言を行っています。

### 【事業の実施状況】

- 相談件数 平成27年度 1,388件  
平成28年度 1,499件  
平成29年度 1,228件
- 報酬 8,494千円（共済費含む）
- 需用費等 299千円





# 子育て支援センター等運営事業

決算書  
118~119ページ  
担当

福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	17,863	13,440			4,423
28年度	20,416	16,363			4,053
29年度	21,759	17,401			4,358

地域全体で子育てを支援する環境づくりの拠点として、子育て支援センター・どんぐりHOUSE、さかえ子育て支援センター、松ヶ原こども館の3施設を設置し、各種行事の実施や、育児不安に対する相談・指導、子育てサークルなどの育成・支援を行っています。

## 【事業の実施状況】

### 〈大竹市子育て支援センター・どんぐりHOUSE〉

- 運営主体 大竹市
- 開館日数 244日/年  
毎週月～金曜日（祝日・年末年始を除く）
- 開館時間 10時～16時30分
- 利用料 無料
- 利用対象 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、子育てボランティアの方
- 年間利用者数 延べ5,411人

### 〈さかえ子育て支援センター〉

- 運営主体 社会福祉法人ひまわり福祉会（指定管理者）
- 開館日数 244日/年  
毎週月～金曜日（祝日・年末年始を除く）
- 開館時間 10時～16時30分
- 利用料 無料
- 利用対象 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、子育てボランティアの方
- 年間利用者数 延べ7,526人

### 〈松ヶ原こども館〉

- 運営主体 NPO法人子育てハッピーネットほのぼのん（運営委託）
- 管理主体 松ヶ原自治会（指定管理者）
- 開館日数 234日/年  
毎週月・火・水・金・土曜日（祝日・お盆・年末年始を除く）  
※平成28年7月から開館日を週3日から週5日に拡張しています。
- 開館時間 10時～16時
- 利用料 無料
- 利用対象 乳幼児・小・中学生とその保護者、子育てボランティア
- 年間利用者数 延べ6,488人



# 産科医療施設人材確保支援事業

決算書  
122ページ  
担当 保健医療課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	150				150
28年度	105				105
29年度	109				109

広島西二次保健医療圏の拠点病院であるJA広島総合病院の産科医療体制等の充実に向け、不足している助産師及び看護師を育成、確保するため、同病院の人材確保事業に対して廿日市市と共同して補助金を交付しました。(平成21～27年度の補助事業)

JA広島総合病院は、平成19年2月から分娩制限を行っていましたが、制限開始時点で14人だった助産師が27人に増えたことで、平成25年7月に分娩制限が解除されました。

平成29年度は、平成28年度に引き続き産科医を安定的に確保するため、JA広島総合病院での分娩件数に応じて、廿日市市と共同で産科医に支給する手当を補助しました。(平成21年度からの継続事業)

## 【事業の実施状況】

※各年度4月1日現在

年 度	産科医(人)	病棟助産師(人)	分娩制限
27年度	6人	24人	なし
28年度	6人	23人	なし
29年度	7人	26人	なし

- 29年度分娩件数：30件 手当単価：3,640円





# 健康づくり推進事業

決算書

124～125, 218～220ページ

担当

保健医療課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	68,211	9,234		5,419	53,558
28年度	63,405	7,459		4,752	51,194
29年度	80,044	11,608		6,442	61,994

疾病を予防することは、市民の生命を守り、健康で自立した生活を維持するために大変重要であり、医療費の抑制にもつながることから、取り組みを強化しました。

## 【主な事業の実施状況】

個別事業名	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			事業内容
		国県支出金	その他	一般財源	
健康診査 一般健診、肝炎ウイルス検診事業	35,612	3,036	3,297	29,279	生活習慣病の予防やがんをはじめとする疾病の早期発見・早期治療を行うとともに、市民の健康を保持するため、健診(検診)を実施しました。
がん検診事業					
健康診査 【国民健康保険特別会計】 特定健康診査・特定保健指導	20,285	8,390	86	11,809	受診しやすい健診(検診)を進めるため、再編交付金を活用して、大腸がん検診の自己負担額の無料化を実施しました。
健康診査 後期高齢者医療人間ドック、脳ドック事業	3,413		3,059	354	40歳～74歳の国民健康保険被保険者に対しては、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診及び保健指導を実施しました。
健康診査 【国民健康保険特別会計】 国民健康保険人間ドック、脳ドック事業	10,085			10,085	※ がん検診事業については、防衛省再編交付金基金を活用しています。
健康手帳配布事業	51			51	健診(検診)や健康づくりの自己管理が行える健康手帳を配布しました。
健康教育事業	570	144		426	生活習慣病などの疾病を予防するため、健康講座、パンフレットや広報などによる啓発を通じて、健康に関する正しい知識の普及に努めました。
健康相談事業	119	35		84	病気の発生や重症化の予防のために、保健師や栄養士による個別相談を行いました。
訪問指導事業	23	3		20	疾病の予防のために、保健師などによる家庭への訪問指導を行い、健康に関する問題を総合的に把握し、生活改善などの必要な指導を行いました。
【一般会計・国民健康保険特別会計】 糖尿病対策推進事業	9,886			9,886	糖尿病対策の普及啓発として、尿検査紙の配布や血糖値測定会、保健師等による出前健康講座を行いました。

健診（検診）受診者数（人）

事業年度	一般健康診査	肝炎	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん
27年度	618	632	711	1,212	2,543	767
28年度	629	488	570	1,122	2,481	590
29年度	834	512	619	1,269	2,742	750

事業年度	子宮頸がん	特定健康診査
27年度	1,040	1,560
28年度	894	1,730
29年度	1,030	未確定

※特定健康診査…28年度確定値。例年、11月に法定報告値が出るため、29年度は未確定

## 予防接種推進事業

決算書

124～125ページ

担当

保健医療課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	60,123				60,123
28年度	65,580				65,580
29年度	65,253				65,253

麻疹、風しんや日本脳炎、ポリオ、インフルエンザなど、感染の恐れがある疾病の発生や蔓延を予防するために、予防接種を行いました。

【事業の実施状況】

(件)

	四種混合	二種混合	不活化ポリオ	麻疹風しん混合	日本脳炎	BCG	子宮頸がん予防ワクチン
27年度	831	153	18	387	663	218	0
28年度	817	222	7	401	849	208	0
29年度	742	151	16	372	863	169	2

(件)

	ヒブワクチン	小児用肺炎球菌ワクチン	水痘	B型肝炎	高齢者肺炎球菌	インフルエンザ
27年度	838	831	481	—	567	4,551
28年度	792	795	384	322	703	4,732
29年度	755	752	379	576	702	4,659

- ・子宮頸がん予防ワクチンの接種は、国の通知により、平成26年6月から積極的な勧奨を控えています。
- ・平成28年10月からB型肝炎が定期予防接種に導入され、接種を開始しました。

- 負担金 60,250千円
- 委託料 2,297千円
- その他（賃金・役務費等） 2,706千円



## 妊産婦歯科健康診査事業

決算書

128ページ

担当

保健医療課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	573			573	
28年度	662			662	
29年度	684			684	

妊娠中は、ホルモンバランスの変化などにより、口腔内の衛生状態が悪化しやすい時期です。また、出産後も子育てで自身のケアが後回しになりやすい時期でもあります。妊産婦自身の口腔衛生状態の悪化が、その後の子どものう蝕（むし虫）の一因になる場合もあるため、妊娠期から口腔ケアの必要性を理解し、実践するきっかけにするための健康診査を実施しました。

妊産婦歯科健康診査受診券2枚（妊娠期1回分、産後1回分）を交付し、委託医療機関で歯科健康診査を受診できるよう支援しました。

歯科健康診査の内容：う蝕（むし歯）の検査、歯周病検査

【事業の実施状況】 (件)

年度	件数	内 訳	
		妊 婦	産 婦
27年度	121	77	44
28年度	140	78	62
29年度	146	95	51

※ 防衛省再編交付金基金を活用しています。



## 妊婦乳幼児健康診査事業

決算書

128～129ページ

担当

保健医療課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	18,478			18,478	
28年度	16,915			16,915	
29年度	18,565			18,565	

妊婦及び乳幼児の健康の保持・増進のため、妊婦健康診査及び乳幼児健康診査の受診券を配付し、異常の早期発見を促すとともに、適切な援助に努めています。

平成21年度から、妊婦に対する健康診査についての望ましい基準として定められている、妊娠から出産までに行う妊婦健康診査14回分の費用を助成しています。

【事業の実施状況】 (件)

	27年度	28年度	29年度
検査券	205	169	188
補助券 1～14回	2,452	2,236	2,340
子宮頸がん検診	202	166	181
クラミジア検診	184	178	190
乳児一般検診	333	318	330
妊婦精密検査	0	0	0
乳児精密検査	3	4	2
1歳6か月児精密検査	13	1	8
3歳児精密検査	4	4	6

○ 妊娠から出産までの妊婦1人あたり助成金額：92,380円（受診券を金額に換算）

○ 負担金 12,158千円

○ その他（委託料・扶助費等） 6,407千円

※ 防衛省再編交付金基金を活用しています。





# 地域支援事業（一般介護予防事業）

決算書

259～260ページ

担当

地域介護課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	19,549	7,331		9,774	2,444
28年度	19,332	7,250		9,665	2,417
29年度	10,614	3,980		5,307	1,327

いきいき百歳体操を主軸に介護予防を実践する人を増やしていきます。また、地域での活動や自宅での介護予防の実践は、元気で自立した生活につながっていきます。教室に参加することが、閉じこもり防止や友人とのふれあいなど、普段の生活に生きがいを持てるような支援となり、介護給付費の削減にもつながります。

## ①いきいき百歳体操

地域での介護予防や見守り、生活支援等を促進するため、住民主体でいきいき百歳体操を週1回以上行う団体に対して、体操の方法の指導やDVD配布、おもりの貸し出し等の支援を行いました。

### 【事業の実施状況】

団体数	参加人数(人)
13	195

## ②地域リハビリテーション活動支援等事業（旧地域サロン等講師派遣事業）

地域における介護予防の取組を行っている地域のサロンや自主グループに介護予防専門職等を派遣し、支援を行いました。

### 【事業の実施状況】

開催数(回)	延べ参加人数(人)
254	2,454

## ③元気はつらつ教室

市民の皆さんが、運動習慣を身に付けることによって、介護予防につなげることを目指し、週1回の運動教室を行いました。（10月からサントピア大竹での参加人数増加に伴い、総合体育館でも開催することとしました。）

### 【事業の実施状況】

開催場所	開催数(回)	延べ参加人数(人)
サントピア大竹	48	2,671
総合体育館	22	584

## ④カラダがよろこぶ健康講座

参加者の健康意識の向上を図りつつ、講座終了後も自主的に健康増進や介護予防に対する取り組みができるような講座を行いました。

### 【事業の実施状況】

開催場所	開催数(回)	延べ参加人数(人)
玖波公民館	12	329
栄公民館	12	251





# 地域支援事業（包括的支援事業）

決算書

260～261ページ

担当

地域介護課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	33,487	19,590		7,367	6,530
28年度	50,372	29,468		11,081	9,823
29年度	51,304	30,013		11,287	10,004

平成18年4月からサントピア大竹に大竹市地域包括支援センターを、また、平成27年7月からメープルヒル病院内に大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援センターを設置しました。それぞれ主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師などが連携し、次のような業務を行い、総合的に高齢者を支えています。

業務の種類	業務の内容
介護予防ケアマネジメント	○要介護認定の申請 ○要支援者のケアプラン作成
総合相談	○地域の高齢者に関する相談
権利擁護	○高齢者の虐待相談 ○成年後見制度の申請補助
包括的・継続的ケアマネジメント	○ケアマネジャーの支援やネットワークの構築 ○さまざまな機関や職種と連携した支援困難事例への対応 ○地域ケア会議の開催

## 【事業の実施状況】

大竹市地域包括支援センターを社会福祉法人大竹市社会福祉協議会に委託し、8人体制で事業を実施しました。

また、大竹市認知症対応・玖波地区地域包括支援センターを医療法人社団知仁会に委託し、認知症疾患医療センターと連携しながら事業を実施しました。

## ○ 平成29年度相談延件数（相談経路・相談内容別）

（単位：件）

		相談経路					
		本人・家族	民生委員・児童委員・地域住民等	介護事業所等	行政・その他	計	
大竹市地域包括支援センター	相談内容	介護保険（制度・サービス）	750	106	518	126	1,500
		介護保険外サービス	110	19	34	16	179
		成年後見制度	8	0	12	11	31
		虐待	52	3	34	29	118
		消費者相談（悪徳商法等）	1	0	8	8	17
		認知症	52	8	17	6	83
		その他	245	104	177	81	607
		計	1,218	240	800	277	2,535
包括支援センター 大竹市認知症対応・玖波地区地域	相談内容	介護保険（制度・サービス）	100	1	14	4	119
		介護保険外サービス	0	0	0	0	0
		成年後見制度	1	0	0	0	1
		虐待	10	0	0	3	13
		消費者相談（悪徳商法等）	0	0	0	0	0
		認知症	37	2	5	6	50
		その他	199	4	77	69	349
		計	347	7	96	82	532
合計		1,565	247	896	359	3,067	

# (5) 心にゆとりを感じるまちづくり

## 総合市民会館改修事業 (冷却塔改修及び身体障害者トイレ等改修)

新

決算書 189ページ  
担当 生涯学習課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29年度	13,253		9,800	3,192	261

※上記事業費には事務費を含みます。

総合市民会館利用者の環境整備のため、老朽化した空調設備の冷却塔を改修しました。また、1階から3階にある身体障害者用トイレ入口を引き戸に改修し、ウォシュレット便座を設置しました。併せて、正面玄関前のタイル滑り止め対策を行いました。

### 【事業の実施状況】

- 工事請負費(冷却塔改修工事) 9,364千円
- 工事請負費(小規模工事) 3,192千円
- 事務費 697千円

## 総合市民会館管理事業 (ウエイトトレーニングマシン整備)

新

決算書 189ページ  
担当 生涯学習課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29年度	7,722			5,918	1,804

総合市民会館(総合体育館トレーニングルーム)利用者の環境整備のため、ウエイトトレーニングマシン(狙った部位の筋肉を鍛えたり、脂肪を燃焼させたりする機器)を更新しました。スポーツ振興くじ助成金(補助率4/5)を活用して実施しました。

### 【事業の実施状況】

- 備品購入費(ウエイトトレーニングマシン) 7,722千円

## 大竹会館管理事業 (張り出しステージ整備)

新

決算書 191ページ  
担当 生涯学習課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29年度	2,192				2,192

アゼリアホールの舞台を拡張して使用するため、組立式の張り出しステージを購入しました。

### 【事業の実施状況】

- 備品購入費(大竹会館アゼリアホール張り出しステージ) 2,192千円

# 図書館改修事業（昇降機整備）

新

決算書  
193ページ  
担当  
生涯学習課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29年度	20,950		20,900		50

※上記事業費には事務費を含みます。

図書館利用者の環境整備のため、昇降機（エレベーター）を更新しました。

## 【事業の実施状況】

- 工事請負費(昇降機整備工事) 19,845千円
- 事務費 1,105千円



# 環境学習事業

拡充

決算書  
137～138ページ  
担当  
環境整備課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	891				891
28年度	832				832
29年度	1,720				1,720

市の環境の現状について、より多くの市民に理解してもらうよう、体験型の環境学習会や集客効果の高いイベント会場で催し等を開催し、より効果的な環境啓発活動に取り組みました。

## 【事業の実施状況】

- ・6月開催の「ひろしま山の日県民の集い」に併せて、川の生き物観察会（来場者400人）を実施しました。また、7月には、小瀬川干潟観察会（参加者43人）を実施しました。
- ・11月開催の「コイ・こいフェスティバル・イン・おおたけ」で、環境に関するブースを設置し、市の環境の状況についてPRを行いました。（来場者1,000人）
- 委託料 1,523千円
- 講師謝礼 98千円
- 需用費 99千円

## 地域不法投棄対策事業

決算書  
125～127ページ  
担当

環境整備課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	7,398	3,671			3,727
28年度	6,025	2,887			3,138
29年度	4,380	2,121			2,259

※上記事業費には事務費を含みます。

地域の快適な生活環境を守るため、ごみの適正な排出に関する普及啓発活動、監視パトロールや団体・市民等の協力による不法投棄の早期発見、不法投棄廃棄物の回収・処理等の取組を実施しました。

### 【事業の実施状況】

- ・市内監視パトロールによる不法投棄廃棄物の早期発見及び回収（週4～5回）
- ・普及啓発活動（ごみ収集カレンダーや市ホームページへの不法投棄防止に関する事項の掲載による周知）
- ・自治会連合会が実施する「ごみの不法投棄実態調査及び回収処理」への協力（3月実施）
- ・不法投棄対策連絡会の開催（構成：自治会連合会、大竹警察署、公衆衛生推進協議会、市関係部署）
- ・公衆衛生推進協議会との共催による「おおたけクリーンキャンペーン」の実施（平成29年9月24日実施）
- ・広島西部地域廃棄物不法投棄防止連絡協議会による合同監視パトロールへの参加（平成29年12月4日実施）
- ・不法投棄監視カメラの増設や移設による効果的な取組の展開
- ・不法投棄防止啓発看板・ネット・のぼりの設置及び配付
- ・公衆衛生推進協議会が実施する不法投棄防止活動への事業費補助

- 賃金 1,945千円
- その他（需用費等） 2,435千円



## 環境衛生推進事業

決算書  
126ページ  
担当

環境整備課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	1,894				1,894
28年度	1,885				1,885
29年度	2,153				2,153

「健康で明るく住みよい美しい郷土」を目指し、きれいで快適なまちづくりの推進のため、公衆衛生推進協議会が取り組む地域と密着した環境美化の活動に対して支援しました。

### 【事業の実施状況】

- 公衆衛生推進協議会が取り組んだ下記の事業に対して支援しました。
  - ・ごみステーションの清潔の保持に関する事業
  - ・不法投棄防止に関する協力事業
  - ・市民の環境美化意識の向上に関する事業
  - ・公共の場における「花いっぱい運動」及び緑化に関する事業
  - ・衛生害虫の駆除に関する事業
  - ・協議会の運営事業

# (6) 行政・社会の仕組みづくり

## 大竹会館改修事業

新

決算書  
190ページ  
担当  
生涯学習課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29年度	5,102			5,102	

社会教育施設等の再編基本方針に基づき、大竹会館を改修します。  
平成28年度から29年度にかけて策定した改修計画で方向性を検討した結果、大竹会館の新館及び旧館を解体し建て替えることを決定しました。この改修計画をもとに、平成30年度に設計業務を行い、平成31年度から改修工事を行う予定です。

### 【事業の実施状況】

- 委託料(大竹会館改修計画策定業務委託料) 5,102千円

## ふるさと納税促進事業

決算書  
83ページ  
担当  
総務課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
28年度	30,033				30,033
29年度	91,745				91,745

寄附（ふるさと納税）の促進や市のPRを目的に、一定額以上の寄附をしていただいた方に市の特産品を返礼品として贈呈しました。  
4つの専用ページへの掲載料、受付から商品発送までの事務等をサイト運営会社にお願ひしています。

- ・ 寄附金額 171,997千円

### 【事業の実施状況】

- 手数料（ふるさと納税業務手数料等） 91,745千円



## 自治会活動支援事業

決算書

90～91ページ

担当

自治振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	23,284	375			22,909
28年度	16,870	438			16,432
29年度	15,212	500			14,712

市広報を各自治会に配布する業務をシルバー人材センターに委託し、市広報の地区内配布を各自治会に依頼しています。また、自治会連合会や各自治会に対して補助しています。

### 【事業の実施状況】

- 市広報配布手数料 8,073千円
- 市広報配布委託料 442千円
- その他(臨時職員賃金, 旅費) 1,721千円
- 《補助金及び負担金》
- 自治会連合会補助金 732千円
- 自治会活動費助成金 4,244千円



## 協働のまちづくり推進事業

決算書

91ページ

担当

自治振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	200				200
28年度	2,751				2,751
29年度	650				650

※上記事業費には市民活動助成審査委員会委員報酬を含みます。

市民活動団体が地域の課題解決のために、自ら提案・実施する事業を公募し、助成金を交付しています。

### 【事業の実施状況】

- 立ち上げから初期の団体の成長・自立を支援するスタート支援助成金  
(上限50千円) 9事業 450千円
- 新しい取り組みに挑戦する団体を支援するステップアップ支援助成金  
(上限100千円) 2事業 200千円



## コミュニティづくり推進事業

決算書

91ページ

担当

自治振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	7,910			5,000	2,910
28年度	5,410			2,500	2,910
29年度	5,410			2,500	2,910

地域の連帯を深め、住みよい地域社会の形成に向けて取り組むコミュニティづくり推進協議会やコイ・こいフェスティバルに対して補助しました。また、宝くじの社会貢献広報事業（一般コミュニティ助成事業）を活用し、コミュニティ推進団体が行う備品の整備に対して補助しました。

### 【事業の実施状況】

#### 《補助金及び負担金》

- コミュニティづくり推進協議会運営補助金 260千円
- コミュニティづくり推進協議会活動補助金 150千円
- コイ・こいフェスティバル補助金 2,500千円
- 宝くじコミュニティ事業補助金（一般コミュニティ助成事業） 2,500千円  
 亀居城太鼓保存会（太鼓 ほか）

## 土地開発公社経営健全化対策事業

決算書

153ページ

担当

監理課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27年度	5,475				5,475
28年度	26,143				26,143
29年度	18,243				18,243

土地開発公社では、事業用地や代替地の先行取得を行ってまいりましたが、経済情勢の悪化もあり、保有地の事業化等が進んでいない状況です。健全な経営に向けて、借入金による負担を軽減するための利子補給や、代替地を処分した際に生じる地価下落による帳簿価格と売却価格の差額について補てんしています。

### 【事業の実施状況】

平成29年度は、土地開発公社が公有地2箇所を売却処分しました。



# 再編交付金基金積立事業

決算書

下表に記載

担当

福祉課・保健医療課・地域介護課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
29年度	247,259	247,259			

## 【事業の実施状況】

事業名	事業内容	事業費(千円)
<p>にこにこ子ども基金 (支援保育士配置事業) 【決算書116ページ】 担当：福祉課</p>	<p>公立4保育所で集団保育を実施するうえで特に配慮を必要とする児童に、支援保育士を配置し、適切な保育環境を確保し、児童の健全な育成と保護者の不安の軽減を図っています。</p>	98,000
<p>健やか安心基金 【決算書123ページ】 担当：保健医療課 地域介護課</p>	<p>市民の健康を確保し、健やかに安心して生活できる環境を整備するため、以下の事業を実施しています。</p> <p>(1) 妊婦・乳幼児健康診査事業 妊婦と胎児の健康を守り、安心して出産を迎えるため、経済的な事情により妊婦健診が受診できない状況にならないよう妊婦健診受診費用を補助しています。</p> <p>(2) 妊産婦健康診査等支援事業 妊産婦の受診を促すため、受診回数に応じて出産育児一時金を超える部分の出産費用の全部又は一部を補助しています。受診1回につき2,000円、14回を上限としています。</p> <p>(3) 妊産婦歯科健康診査事業 ※平成26年度追加事業 妊産婦及び生まれてくる子どもの口腔衛生の向上を図るため、妊娠期と出産後1年以内に1回の計2回分の歯科健康診査費用を補助しています。</p> <p>(4) 大腸がん検診自己負担額無料化事業 ※平成26年度追加事業 大腸がん検診の自己負担額を無料化することで、大腸がん検診を推進しています。</p> <p>(5) 生活見守りサービス支援事業 ※平成27年度追加事業 一人暮らしの高齢者等が、ケーブルテレビの電源を入れることで、離れて暮らす家族の携帯電話などへ情報が自動送信されるサービスの初期費用(51,840円)と月額利用料金の一部(972円)を助成しています。</p>	53,259
<p>阿多田診療所基金 【決算書123ページ】 担当：保健医療課</p>	<p>阿多田地区の医療を安定的に提供し、住民の医療水準の向上のため、医療法人阿多田診療所が開設する診療所の運営に要する費用のうち、医療法人が決算で生じた欠損金の補てんに要する費用を助成しています。</p>	96,000